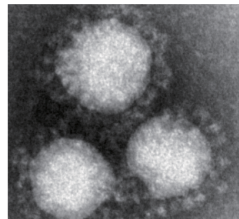


# いつもの感染症対策をしつかりと



新型のコロナウイルス（国立感染症研究所ホームページ）

2月4日の関係機関連携会議には医師会や病院、消防が参加。医療体制の確認のほか、市内での疑い患者発生を想定して意見交換などを行いました

## WHO「緊急事態宣言」で市対策本部を設置

1月から、中国の武漢市を中心に新型コロナウイルスによる肺炎が流行。28の国と地域に拡大しています。

久留米市は、新型肺炎の感染拡大防止や患者発生などに素早く対応するため、1月28日に市内連絡会議を設置しました。同日と30日に会議を行い、市内での患者発生など状況の急変に備え、全庁で情報を共有しました。

31日、世界保健機関の緊急事態宣言を受け、同日に大久保勉市長を本部長とした市対策本部を設置。コールセンターの開設や医療関係者などとの連携会議の開催、友好都市・中国合肥市との情報共有や同市への物資支援などを決定しました。

## 主な症状は風邪と同じ 手洗いをこまめに

新型コロナウイルスに感染すると、発熱、せき、くしゃみなど



対策本部会議後の記者会見では合肥市に送る物資を展示しました

ど風邪と同じ症状が現れ、重症化する。肺炎を引き起こします。ウイルスの潜伏期間は10〜14日程度といわれています。過剰に心配する必要はありません。風邪やインフルエンザと同じ予防方法を徹底することが大切です。

## 不安なときは相談を コールセンターは2カ所

国と市は「流行地から帰国した人と接触した」「外出時は何に注意したら良い」など、市民の皆さんの不安に対応するコールセンターを設けています。

## 医療機関に行く前に

中国など、流行地から帰国した人やその人と接触した人で、発熱やせきなどの症状がある場合は、すぐに市のコールセンターに相談してください。



- 市新型コロナウイルス相談センター（帰国者・接触者相談センター）  
【☎0942・300・9335】  
平日8時30分〜17時15分
- 厚生労働省電話相談窓口  
【☎0120・565653】  
9時〜21時、土日曜も受け付け
- ◎保健予防課（☎0942・300・9730、FAX0942・300・9833）

## 「手洗い」や「せきエチケット」を徹底

- ・流水とせっけんで、こまめに手洗い
- ・帰宅時やせきをした後、口や鼻などを触る前に、必ず手洗い
- ・せきが出るときは、マスクを着けるか、口や鼻をティッシュなどで覆いましょう



※記事は2月7日時点で作成しました

## 令和元年消防統計

# 救急搬送時間は全国トップクラス

久留米広域消防本部は久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町の火災・救急・救助出動を行っています。平成31年1月から令和元年12月末までの1年間の統計をまとめました。その概況をお知らせします。

## 火災件数は微増

久留米広域消防本部が管轄している地域の令和元年中の火災件数は144件、昨年より3件の増加となりました。火災の種類は建物火災が73件、林野火災は0件、車両火災が12件、その他の火災が59件でした。前年と比べ、建物火災が5件減、林野

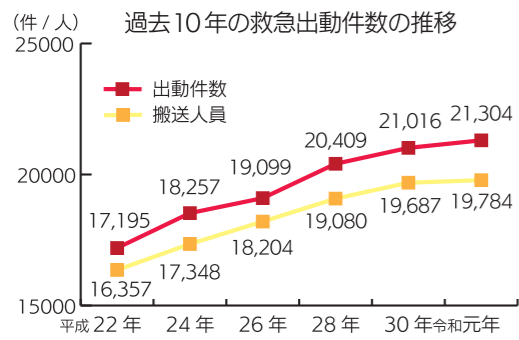
火災は1件減、車両火災が1件増、その他火災が8件増です。

このうち、久留米市は80件で、昨年から6件減。出火原因の中で最も多いのは、配線による火災で12件。コンセントとプラグの隙間にほこりがたまり、漏電して発火する「トラッキング現象」やたこ足配線などによるものです。続いて、たき火や野焼きといった野外焼却が11件、放火の疑いが9件、たばこ6件、こんろ6件、放火4件などです。

火災を防ぐためには、家庭で落ち葉の焼却などをしないことや野焼き防止の見回りなど地域での呼び掛けが重要です。

## 増え続ける救急出動件数

救急車の出動件数は前年より288件増えて、2万1304件。平均すると1日に58・4件



出動しています。10年間で4109件増えています。救急搬送された人数は1万9784人。前年より97人増加。この10年で3427人増加しています。どちらも11年連続の増加という結果になりました。

## いち早く医療機関へ搬送

全国的に救急出動は増加傾向で、119番通報をしてから傷病者を医療機関に搬送するまでの平均時間が長くなっています。

久留米広域消防本部の令和元年中の救急搬送時間は27・2分。平成30年の全国平均39・5分より10分以上も早い搬送です。平成30年は、政令市・中核市を管轄する消防本部の中で、全国一位の早さとなっています。

迅速な搬送は、医療機関が多いことに加え、通報から状況を的確に聞き出す技術や現場の対応力の向上、医療機関との



スーパーラビット

連携強化によって実現しています。  
◎救急防災課（☎0942・300・5158、FAX0942・300・5172）

久留米広域消防本部ホームページへ  
救急の概況へ  
詳しくはQRコード

## 迷ったら相談ダイヤルへ

軽いけがや病気で救急車を呼ぶ人がいる一方で、周りを気にして救急車を呼ばない人もいます。本当に必要か迷ったら、24時間受け付けの救急電話相談#7119または092・471・0099へ電話してください。